

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

- ・製品の名称 : ワリフ
- ・奨励用途及び使用上の制限 : 他基材の補強、通気性材料資材との複合など。
- ・会社名 : 販売者 ENEOS テクノマテリアル株式会社
- ・住所 : 〒289-1624 千葉県山武郡芝山町小池 2700 番 72
- ・担当部門 : 成田工場 品質管理グループ
- ・発行連絡先 : 電話番号 0479-77-1524
FAX 番号 0479-77-2218

2. 危険有害性の要約

- ・ GHS の分類 : 分類基準に該当しない。
- ・ GHS 分類に該当しない : 特段の注意を要する危険有害性をもたないが、火炎やスパークによる火花等に接触することにより引火することがある。

3. 組成、成分情報

- ・化学名 : ポリエチレン (単一製品)
- ・成分及び含有量 : ポリエチレン $\geq 98\%$ 、添加剤 $\leq 2\%$
- ・化学式又は構造式 : 特定できない。
- ・官報公示整理番号 : 官報記載済み (6)-1、(6)-10
- ・CAS 登録番号 : 9002-88-4 、 9010-79-1
- ・国連分類及び国連番号 : 該当しない。
- ・PRTR 法 : 該当しない。

4. 応急措置

特別な応急処置が必要になる危険有害性はない。

- ・吸入した場合 : 高温の溶融樹脂から発生するガスをひどく吸入した時は、新鮮な空気のある場所に移る。咳・呼吸困難やその他の症状が出た時は、医師の手当てを受ける。
- ・皮膚に付着した場合 : 石鹸・水で良く洗い流す。溶融物が付着した場合には、衣服の上から大量の水をかけ、十分に冷却し、衣服を脱がせ、医師の手当てを受ける。
- ・目に入った場合 : 危険な物質ではないが、眼球を傷つける可能性があるので清浄な水で洗い流す。異物が目に残るようであれば、眼科医の手当てを受ける。
- ・飲み込んだ場合 : 危険な物質ではないが、出来るだけ吐き出し、異常を感じるようであれば、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- ・消火方法 : 一般火災と同じ消火方法を用いて差し支えない。
 - ・消火剤 : 水、泡消火剤（エアフォーム）、粉末消火剤等を用いることが出来るが、水は冷却効果が大きいので水を使用することが望ましい。
 - ・消火を行う者の保護 : 保護手袋、保護眼鏡（ゴーグル型）、空気呼吸器を着用する。
-

6. 漏出時の措置 *1

- ・人体に対する注意事項 : 情報なし。但し、床面に散乱した場合は滑る恐れがあるので清掃の上、回収する。
 - ・環境に対する注意事項 : 排水系などの水面へ流出した場合は、魚類、鳥類等に悪影響もある。
 - ・回収・中和 : 該当しない。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い : 常温では引火の恐れはないが、作業上で火気をみだりに使用することを避ける。
 - ・保管 : 常温で保管し、直射日光、水濡れ、急激な温度変化等を避ける。貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。
-

8. 暴露防止及び保護措置

- ・設備対策 : 該当しない。
 - ・管理濃度 : 特に定められていない。
 - ・許容濃度 : 日本産業衛生学会（1996年度版）… 特に定められていない。
ACGIH（1996年度版）… 特に定められていない。
 - ・呼吸用保護具 : 通常は不要。火災の場合は自給式呼吸危惧を使用する。
 - ・手の保護具 : 作業環境に応じて皮製の手袋などの保護具を使用する。
 - ・目の保護具 : 作業環境に応じて眼鏡等の保護具を使用する。
 - ・皮膚及び身体の保護具 : 該当しない。
-

9. 物理的及び化学的性質

- ・外観等 : ネット状。
 - ・臭い : 特になし。
 - ・蒸気圧 (mmHg) : 測定データなし。
 - ・蒸気密度 (空気=1) : 測定データなし。
 - ・発火点 : 350℃付近
 - ・密度 : 0.91~0.96g/cm³
 - ・融点 : 102~136℃
 - ・溶解性 : 該当しない。
-

10. 安定性及び反応性

- ・安定性／反応性 : 一般的な貯蔵取扱いにおいては安定で、反応性はない。
 - ・避けるべき条件 : 危険有害物等は発生しないが、直射日光に長期間暴露されるとポリエチレンの劣化が生じる。また、熱、火または強い酸化剤との接触を避ける。
-

11. 有害性情報

- ・皮膚腐食性 : 皮膚腐食性はない。
- ・刺激性 : 非刺激性。
- ・感作性 : 感作性はない。
- ・急性毒性 *2 : 原料であるポリエチレンの生体に対する影響を見ると、ラットの経口投与による LD₅₀ 算定が試みられたが、7.95g/kg 以上の投与は実験操作上困難であり、また、この 7.95g/kg の投与量では、なんら毒性の兆候は見られず、体重増加も正常であり、組織病理学的検査でも異常は認められない。
- ・がん原性 *3 : 原料であるポリエチレンは、IARC の発がん性区分でグループ 3 (ヒトに対して発がん性について分類できない) に分類されている。

12. 環境影響情報

海洋生物・鳥類が摂取することを防止するために、いかなる海洋や水域へ投棄・放出してはならない。

- ・生態毒性 : 毒性影響を及ぼすとは考えにくい。
- ・分解性 : 容易に生物的に分解しない。

13. 廃棄上の注意

- ・関連法規、地方自治体の基準に従い適切な廃棄を行う。
- ・廃棄物は原則として、焼却又は埋立によって処理する。
- ・焼却する時は、焼却設備を用いて「大気汚染防止法」等の関係法令に適合した処理を施し、焼却する。
- ・埋め立てる時は「廃掃法」に従って処理する。

14. 輸送上の注意

- ・国際規制 : 国際輸送に関する国際勧告の定義上は危険物に該当しない。外国為替及び外国貿易法のキャッチオール規制貨物に該当するので、ホワイト国以外に輸出する際は法令に従い実施する。
- ・消防法 : 危険物に該当しない。
- ・船舶安全法 : 危険物に該当しない。
- ・航空法 : 危険物に該当しない。
- ・注意事項 : 梱包袋が破れないように、水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

15. 適用法令

- ・消防法 : 指定可燃物 (合成樹脂類) (指定数量 : 3,000kg)
- ・水質汚濁防止法 : 該当しない。
- ・毒物劇物取締法 : 該当しない。
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止)

16. その他の情報

- ・引用文献 *1 : 樹脂ペレット流出防止マニュアル (日本プラスチック工業連盟)
- *2 : プラスチックス Vol.26 No.3 P.20
- *3 : IARC MONOGRAPHS Supplement No.7
Overall evaluations of carcinogenicity : An updating of IARC Monographs Volumes 1 to 42, 1987

・特記事項	<p>記載内容は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しており、上記の情報は新しい知見により訂正されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。なお、上記の内容は情報提供であって、保証するものではありません。</p>
・改訂履歴	<p>作成日：1995年 8月 31日</p> <p>改訂日：2000年 11月 1日 内容：JIS Z 7250:2000に準拠して項目を整理し、全体の体裁を修正</p> <p>改訂日：2002年 6月 26日 内容：社名変更</p> <p>改訂日：2006年 4月 28日 内容：担当部門名変更</p> <p>改訂日：2006年 8月 1日 内容：製品名称変更</p> <p>改訂日：2008年 11月 1日 内容：担当部門名変更</p> <p>改訂日：2010年 7月 1日 内容：社名、住所変更</p> <p>改訂日：2010年 11月 16日 内容：JIS 2005年版対応（GHS対応）</p> <p>改訂日：2012年 7月 1日 内容：会社分割 販売者 JX日鉱日石エネルギー株式会社 受託製造者 JX日鉱日石 ANCI 株式会社</p> <p>改訂日：2014年 4月 1日 内容：担当部門名変更</p> <p>改訂日：2015年 3月 1日 内容：JIS Z 7253:2012に対応</p> <p>改訂日：2015年 10月 1日 内容：吸収分割および社名変更 販売者 JX ANCI 株式会社</p> <p>改訂日：2019年 4月 1日 内容：担当部門名変更</p> <p>改訂日：2020年 4月 1日 内容：担当部門名変更</p> <p>改訂日：2020年 10月 1日 内容：社名変更</p>